一般社団法人
高知医療再生機構

医療再生事業部
〒780-8570 高知市丸ノ内1-2-20 高知県庁本庁舎内
TEL 088-822-9910　FAX 088-855-5881

予防医学ネットワーク事業部
研究支援事業部
〒783-8505 南国市岡豊町小蓮 高知大学岡豊キャンパス内
TEL 088-880-2223　FAX 088-880-2721

ホームページ　http://www.kochi-mrr.or.jp/
E-mail　info@kochi-mrr.or.jp

高知医療再生機構

Ver.2

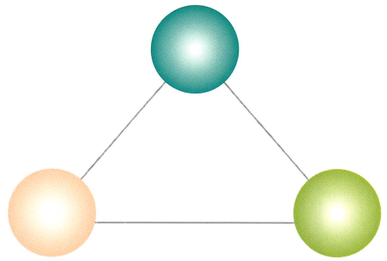
Kochi Organization for Medical Reformation and Renewal

日本で一番手厚いキャリア形成サポート県を目指して



一般社団法人
高知医療再生機構

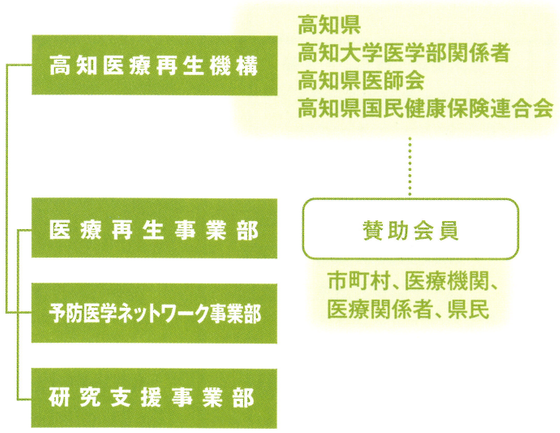
高知県
県全体の医師確保対策について企画立案、予算確保、医師養成奨学金貸付などを行う



高知地域医療支援センター
地域医療機関への医師の適正配置の調整と、医師にとって魅力あるキャリア形成の体制づくりを行う

高知医療再生機構
若手医師のキャリア形成、県外からの医師の招聘と赴任の支援、高知大学、県外大学との人材交流などを行う

組　織





ご挨拶
理事長　倉本 秋

高知を、人を育てる肥沃な大地に

高知医療再生機構の立ち上げからずっと、「医療再生は人から始まる」と語ってきました。これは信念ですが、2年間の活動を通じて人から始める使命はより明確になりました。

すべての都道府県に少なくても一つの大学医学部があります。毎年100名前後の医師の卵を送り出す絶えない泉があるのです。泉から湧く「若手医師」の希望は何でしょうか。干からびた大地に吸い取られて、生涯、砂を噛みながら医療をしたいでしょうか。肥沃な土地で、継続的に学びながら、他者の役に立ちたいと考えているはずです。ある意味現在は、日本全土が医療砂漠です。都会が「なんとなく」魅力を放っているにすぎません。

砂漠にもオアシスがあります。近隣の山々に降った雨が地下水脈を通って砂漠に現れ、周辺に緑地が広がってオアシスとなります。地域医療再生臨時特例交付金はさしずめ、この地下水脈だったように感じます。すべての都道府県砂漠に、平成22年、地下水脈が引かれたのです。雨はいっときに降りました。そこに洪水を生じさせず、また5年経ったところでオアシスを果てさせないことです。地下水脈が継続的に供給されて医師のキャリア形成が自在にサポートされ続ける先に、緑地が広がり、高知県は学びやすい肥沃な大地になります。

若手医師にはもう一つ望みがあります。それは自分たちが、自らの運命や未来を決められることです。自由が生まれた土佐で、研修医、若手医師たちの自発的な活動が脈打ち始めています。その支援も高知医療再生機構の大切なオペレーションです。

Ⅰ. 医療再生事業部

地域が一様に抱える深刻な医師不足の問題を解決し、高知県の医療の充実を図るため、医師確保と医師の資質向上に関する事業を行っています。



1 医師の招聘・斡旋

（1）県内の医師求人情報を提供するウェブサイト「こうち医師ウェルカムネット」の運営
（2）高知で頑張る医師を紹介する「こうち医師ウェルカムネットニュース」の発行
▶▶P.13

（3）医師招聘・斡旋
①地域の病院への機構が雇用する医師の派遣
②医療専門職に対する無料職業紹介
▶▶P.12
③地域の病院へ赴任する医師への研修修学金の貸与
▶▶P.10,12
④地域赴任医師をサポートする連携コーディネーターの設置
▶▶P.12
⑤高知の医療見学ツアーの実施
⑥「こうちの医療RYOMA大使」の委嘱
▶▶P.13

（4）県内出身医師への情報発信を行う「医師ふるさとネット」の運営

2 コーチレジの自主活動支援 ▶▶P.9

高知県で研修を行う医師（コーチレジ）の活動に対する側面からの支援

（1）レジデント クエストやコーチフェス（いずれも全県規模での医師・医学生らの勉強会）の開催支援
（2）セーフティスクラム
（3）ホームページやfacebookによる情報発信



コーチフェス2012

3 施設・設備・システムの整備支援 ▶▶P.11

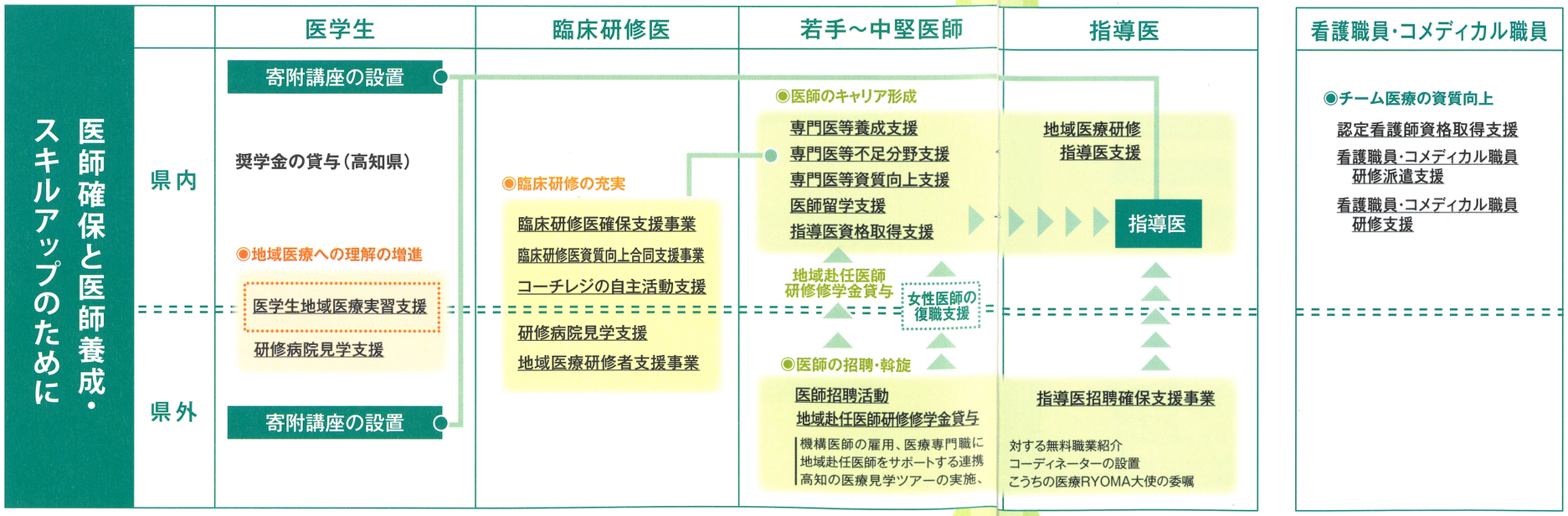
（1）レジデントハウス　南風（みなかぜ）
（2）高知県立あき総合病院
（3）安芸保健医療圏における連携体制

4 女性医師の復職支援 ▶▶P.12

（1）出産・育児などによって仕事を離れている女性医師に対する相談窓口の設置
（2）復職のための情報提供や就業医療機関の調整
（3）スタートアップ研修環境の整備

5 寄附講座の設置 ▶▶P.7

（1）高知大学の「災害・救急医療学」講座
（2）聖マリアンナ医科大学の「高知県地域医療支援」講座



6 各種事業の費用助成および負担

（1）医学生の実習・研修支援 ▶▶P.7

	事業名	助成対象者
①	医学生地域医療実習支援事業	公募／全国の医学生
②	研修病院見学支援事業	公募／県外在住の医学生

（2）臨床研修充実のための支援 ▶▶P.9

①	地域医療研修者支援事業	公募／県外在住の初期臨床研修医
②	研修病院見学支援事業	公募／県外在住の研修医
③	臨床研修医確保支援事業	高知県臨床研修連絡協議会
④	臨床研修医資質向上合同研修支援事業	公募／基幹型臨床研修病院

（3）キャリア形成支援 ▶▶P.10

①	地域医療研修指導医支援事業	高知県へき地医療研修指導医連絡協議会
②	専門医等養成支援事業	公募／指導的立場にある医師
③	専門医等資質向上支援事業	公募／概ね16年以上の臨床経験を有する医師
④	専門医等不足分野支援事業	公募／医師
⑤	医師留学支援事業	公募／医師免許を取得後15年以内の医師
⑥	指導医資格取得支援事業	公募／専門医資格取得後、2年以上経過している医師

（4）医師確保の支援 ▶▶P.11

①	指導医招聘確保支援事業	公募／医療機関
②	医師招聘活動事業	公募／医療機関

（5）看護職員・コメディカル職員の資質向上支援 ▶▶P.11

①	認定看護師資格取得支援事業	公募／医療機関等
②	看護職員・コメディカル職員研修派遣支援事業	公募／医療機関等
③	看護職員・コメディカル職員研修支援事業	公募／医療機関等

7 地域医療コラボレーションシステムの開発

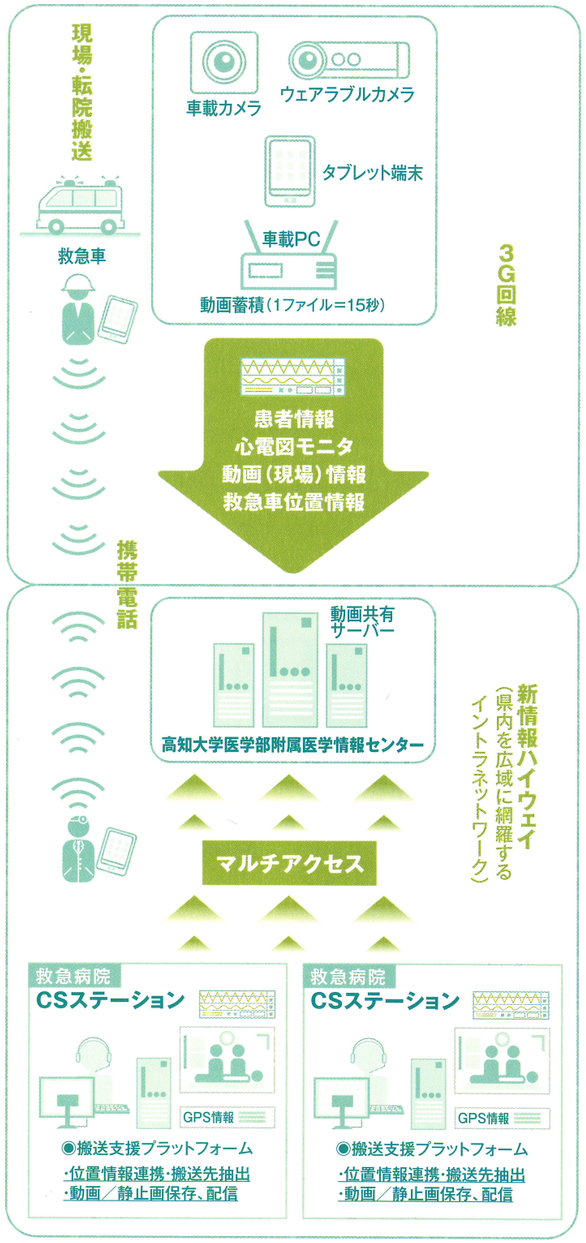
(1) 高知県救急医療情報連携システム（ICTによる地方型救急医療支援）

高知県の救急医療の充実を図るために、搬送時の情報連携を支援するシステムを、国立情報学研究所の協力を得て開発しました。救急現場の画像や正確な患者情報が救急医療機関に伝送され、より適切な救急処置が可能になります。電波の不感知地域があっても通信可能な、地方対応の工夫が凝らされています。併せて、情報連携を行うための人材として、「CS（コミュニケーションスペシャリスト）」の育成事業を行いました。

救急隊および医療現場の声を取り入れ、システムの開発・構築を行ったもので、地方の実態に即した医療情報連携となっています。

このシステムは MCPC award 2012 特別賞を受賞しました。
http://www.mcpc-jp.org/award2012/

※伊藤忠商事より販売しています



(2) 読影システム

新たに開院する高知県立あき総合病院に高知医療再生機構から医師を派遣し、安芸医療圏で遠隔診断を含めた読影システムを構築し、「画像診断医過疎地域」での有効活用を実証実験します。

(3) CCT災害地医療

伊藤忠商事やカンバーランドジャパンが開発している、災害の現場に駆けつける「診療所機能」を持ったトレーラーハウスに搭載する医療機器などについてアドバイスをしています。

このトレーラーハウスは、2011CEATECで米国メディアパネル・イノベーションアウォードを受賞しました。

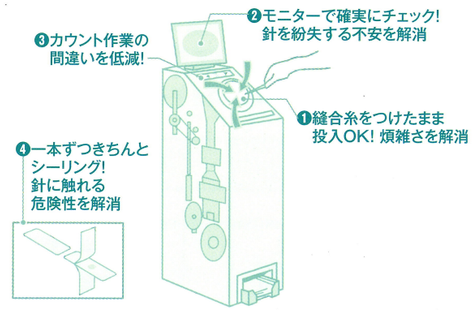
※伊藤忠商事より販売しています



(4) 看護部との連携

(a) 針カウンター

病院の手術室で使われる針のサイズはさまざまで、体内に「絶対」残さないようにきちんと数える方法はまだ確立していません。針を確実に回収する夢を、高知大学医学部附属病院看護部、泉株式会社と共同開発中。



(b) スタッキングカート

看護師の多い日勤帯はPCを載せて病室で活躍、人も仕事も少なくなった夜勤帯はコンパクトに収納されます。高知大学医学部附属病院看護部、泉株式会社と共同開発。

※泉株式会社より販売しています



◉省スペースで収納可
◉押し込みだけで簡単にスタッキング

Ⅱ.予防医学ネットワーク事業部

新しい医療サービスのあり方を研究するとともに、健康的でよりよい食生活を実現するための相談やソフト開発を行っています。

1 市町村等での栄養相談事業

管理栄養士による栄養相談

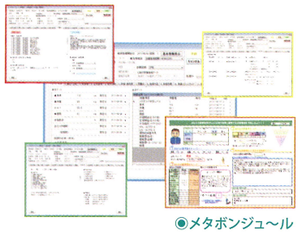
特定保健指導や乳幼児健診における栄養相談、離乳食教室、疾患別の栄養相談、および講演など

2 栄養・保健指導技術の向上に関する研究事業

特定保健指導用ソフト「メタボンジュ〜ル」の開発

高知大学と共同で、特定健診の結果に基づき、個人個人に応じた特定保健指導のプログラムと、保健申請データの作成を支援するソフトを開発

※株式会社ヘルシースマイルより販売しています



◉メタボンジュ〜ル

3 高齢者の健康的な生活支援に関する研究事業

高齢者退院支援評価・介入プログラムシステム

高齢者の身体状況や要介護の状態、家庭状況や経済状況などの情報を1ヵ所に集約し、退院のための介入方針決定、退院支援計画書作成を支援するソフトを開発・パッケージ化

※株式会社ヘルシースマイルより販売しています

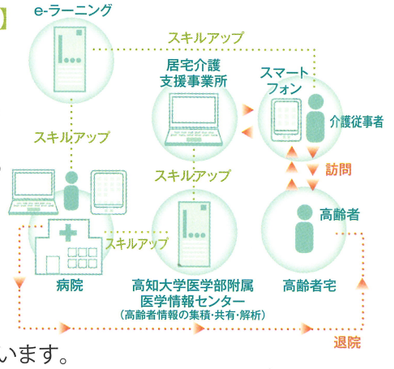
4 地域ICT利活用による医療連携ネットワーク構築事業【幡多地域】

高齢者が多い幡多地域において、医療と介護が連携するしくみを構築

（1）高齢者用総合機能評価システム（パソコンまたはタブレット端末で情報入力）を活用し、医療機関の適切な退院計画の作成を支援。高齢者にふさわしい居場所（病院・施設・在宅）の選定の支援を行う。

（2）介護現場でスマートフォン端末による情報入力を行い、高齢者の在宅生活に医療の目を向ける。診断や治療を要する場合には医療機関での速やかな対応が可能となる。

（3）「e-ラーニング」システムを活用し、医療・介護従事者の育成およびスキルアップを行う。



Ⅲ.研究支援事業部

大学での研究を円滑に進めるためのシステム開発を行い、研究を支援しています。

1 「認証型Web申請・審査システム」の開発

大学で研究するために必要な研究申請書をWeb上で受け付け・審査し、全体の申請・審査状況を管理するシステムを開発

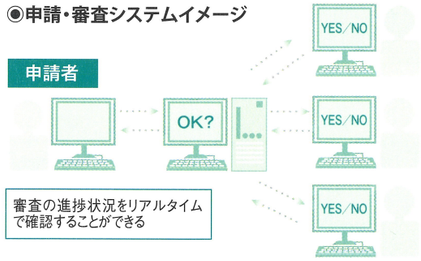
※高知医療再生機構より直接販売しています

(1) 遺伝子組み換え実験安全委員会・動物実験委員会・倫理委員会 申請・審査システム

◉申請・審査フロー

実験計画入力		
	・申請	
事務受付	……	委員会の事前準備がなくなり、大量の印刷物を削減できる
	・審査依頼	
委員会審査	……	委員がいつでもどこからでも審査に参加できる
	・取りまとめ依頼	
委員長審査	……	必要に応じて申請者に差戻しできる
	・承認	
事務処理	……	申請・審査・承認の状況を一覧で管理できる
	・通知	
実験開始	……	速やかにスタート

◉申請・審査システムイメージ



(2) オーダーカスタマイズ

機関ごとに異なる申請様式・審査基準・承認手順に合わせ、カスタマイズが可能

◉納入実績：岡山大学、長崎大学、富山大学、高知大学

医学生のために きっかけは自分で創る

1 地域医療にふれてみよう! 医学生地域医療実習支援事業 6万円以内

補助対象経費／交通費や高速道路の使用料、宿泊費、書籍購入費、傷害保険料等

医学生のみなさんが、地域医療を学ぶための研修や家庭医学講座等を受講するにあたり、その経費を助成しています。

◉助成の対象

原則として高知県医師養成奨学金貸付、または高知県地域医療診療施設等勤務医師修学資金の貸付を受けている県外の医学生や、高知県の地域医療に深い関心を持つ医学生





平成22年度【医学生地域医療実習支援事業】利用
高知大学医学部医学科4年　小林 彰太郎さん

家庭医療学講座に集う仲間3人と、自主学習として沖の島の診療所へ見学・実習に行った際の、交通費・宿泊費について助成をいただきました。沖の島は初めての訪問でしたが、住民の方々は皆さん親切に私たちに接してくださいました。沖の島診療所の先生、宿毛市の保健師さん、住民の方々のお話から、島の診療所が住民の方々の健康を守るうえで非常に重要な役割を果たしていること、医師をはじめとする診療所のスタッフの方々と住民の皆さんが厚い信頼関係で結ばれていることが分かりました。離島医療のやりがいを知ることができた今回の訪問は自分にとって本当に貴重な経験となりました。

2 高知で研修病院を見つけよう! 研修病院見学支援事業 1泊あたり｜1万円(3泊まで)

高知県内での初期・後期臨床研修を考えている、県外在住の医学生のみなさんに、研修病院を実際に見て、知っていただくための費用を助成しています。県内の基幹型臨床研修病院を２ヵ所以上見学する場合に、その経費を助成しています。

平成22年度【研修病院見学支援事業】利用
首都圏の大学医学部6年　Kさん

高知市内の3病院の見学に際し、助成をいただきました。研修病院は、実際に見てみないと雰囲気や実態がわかりません。しかし学生にとって、県外から現地に向かうには交通費や宿泊費の問題が意外と大きなものです。この事業が県外からでも見学に行く良いきっかけとなりました。

まずは見に行ってみることで、学生の視野も広がり、高知県内での研修も選択肢に入るのではないでしょうか。

3 医療の質の向上と人材育成に向けて

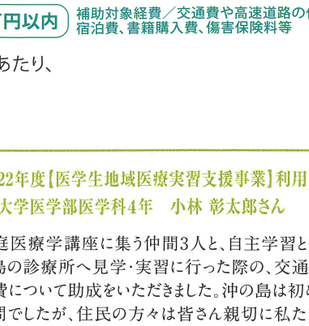
寄附講座の設置

(１)高知大学に「災害・救急医療学」講座を設置

災害医療および救急医療に関する臨床教育と研究体制を強化し、高知県の災害・救急医療の質の向上、救急医療を担う人材の育成・確保を目的とします。

(２)聖マリアンナ医科大学に「高知県地域医療支援」講座を設置

聖マリアンナ医科大学に対して、県内の医療機関を「地域医療のフィールドワークの場」として提供し、高知の地域医療を学ぶための講座の設置を支援しています。将来を見据えて、定期的・継続的な医師確保を目指します。

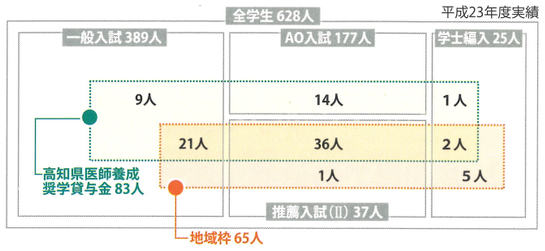




奨学金で有意義な学びを!

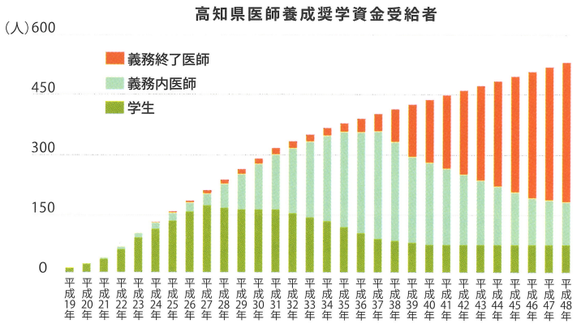
1 奨学金と地域枠

高知大学医学部の入試形態と、高知県医師養成奨学金貸与者、地域枠の関係は右図のようになります。地域枠の学生は原則として奨学金を受給していますが、一般入試、AO入試、学士編入のみなさんも、たくさん奨学金を受けてくれています。



2 奨学金貸与人数の将来像

高知県内の奨学金貸与者の人数は右図のようになる見込みです。彼ら、彼女らのキャリアデザインを、輝くものにすることが求められています。



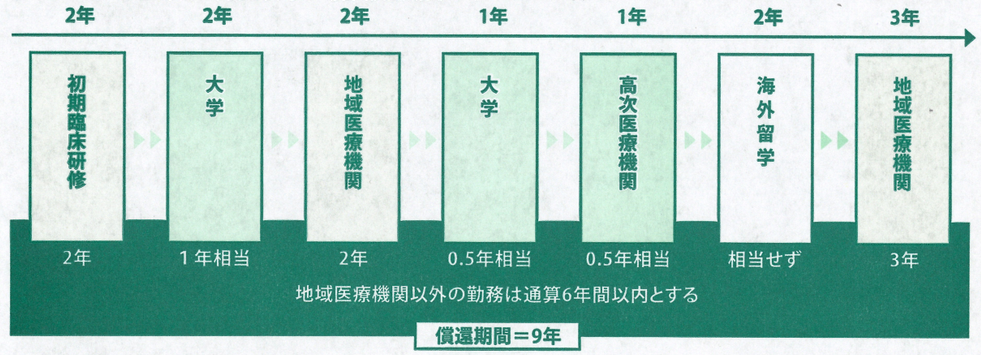
3 奨学生のキャリアデザイン

卒業後の勤務先ローテーション

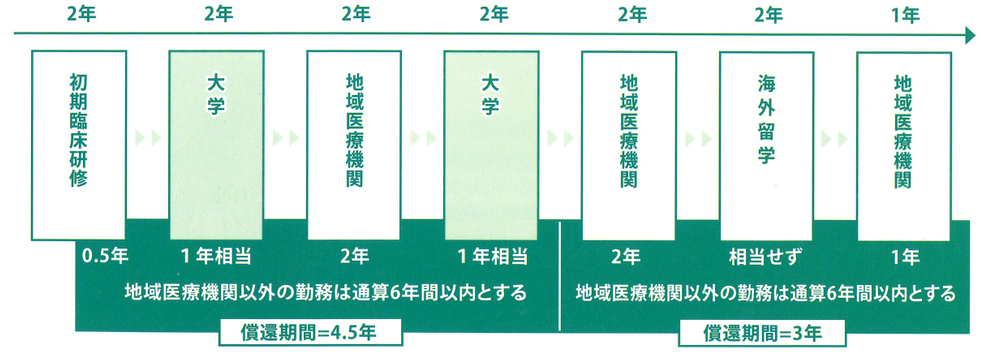
高知の医療に従事する医師を育てるための奨学金制度ですが、「地域医療機関」での勤務ばかりが続くわけではなく、高知大学医学部附属病院や高次医療機関(今後指定)などでの勤務を交えたローテーションが可能です。なお、奨学金の償還免除までの間に地域医療機関以外で勤務できるのは通算6年までと定められていますが、高知大学医学部附属病院や高次医療機関(今後指定)などでの実勤務年数の1/2を地域医療勤務の年数としてカウントするのは最大4年間(実勤務年数)×1/2=最大2年間(地域医療勤務相当)と定められています。

お問合せ先
高知県医療政策・医師確保課
TEL 088-823-9660

◉ケース①　学生時代6年間で貸与の場合(償還期間:6年×1.5=9年)



◉ケース②　学生時代3年間と初期臨床研修2年間で貸与の場合(償還期間:3年×1.5+2年×1.5=7.5年)



※大学で連続5年以上勤務したとしても、地域機関勤務相当としては最大2年まで
※留学については大学や指定医療機関等の了解が必須。留学期間は地域医療勤務年数にカウントされません

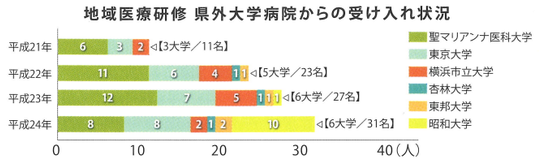
臨床研修医のために 研修は自分で創る

1 高知県での地域医療研修参加を応援!

地域医療研修者支援事業 | 一律｜6万円

県外在住の初期臨床研修医のみなさんが、高知県内で地域医療研修に参加するための費用を助成しています。

都会の研修医のみなさんに、保健・福祉・介護と一体となった地域医療をきちんと学んでもらうことが主眼ですが、できれば将来、「見たことのある地域」の医療に少しでも貢献してもらうきっかけになればと考えています。



2 高知県での研修病院探しをお手伝い!

研修病院見学支援事業 | 1泊あたり｜1万円（3泊まで）

高知県内での後期臨床研修・レジデント研修を考えている、県外在住の初期臨床研修医のみなさんに、県内の後期研修病院を知っていただくための費用を補助しています。2ヵ所以上見学する場合に、必要となる宿泊費を助成します。

3 県内の臨床研修をサポート!

基幹型臨床研修病院と高知県が協力して「高知県臨床研修連絡協議会」を組織し、臨床研修医の確保や研修内容の充実を図るためのさまざまな取り組みを行っています。当機構は、この活動に必要な経費を助成しています。

臨床研修医確保支援事業

レベルの高い、魅力的な研修ができる高知県として、日本全国から研修希望者が集まってくるよう、高知県臨床研修連絡協議会は以下の取り組みを行っています。

（1）研修指導医養成のためのワークショップの開催
（2）県外臨床研修合同セミナーへの参加
（3）県内臨床研修病院合同説明会の開催
（4）医学生・研修医に向けての情報発信
（5）初期臨床研修医のBLSコース・ICLSコースの開催支援
（6）研修医が企画する事業への支援

4 研修医の勉強会を支援!

基幹型臨床研修病院が、研修医のために行う合同研修会等の開催経費を助成するとともに、研修医の自主的活動の支援を行っています。

臨床研修医資質向上合同研修支援事業

高知の研修医は、熱く学び合っています!

平成23年4月、2年目の初期臨床研修医が講師となって講義を行う、研修医による研修医のための勉強会『レジデントクエスト』を開催。平成24年2月には、医学生から初期・後期研修医、指導医、開業医まで、県内のすべての医師を対象とする『コーチフェス』を開催しました。学びの輪が広がっています。



レジデント クエスト～2011 Spring～

研修医の自主的活動

高知県の研修医による"All for Kochi, Kochi for All"の活動は、HPやfacebookで発信されています。「レジデントクエスト」、「都会の研修医によろしく～地域医療再生計画～」、「コーチレジ（#高知 研修医）」などで検索してください。

[コーチレジ] http://www.kochi-resi.net/

5 研修医のメンタルヘルスを大切に!

研修医の一番近くにいるのは研修医。「隣りにいる研修医の心の変化に研修医が気付きたい」、そんな研修医の思いの結集が、研修医によるセーフティスクラム（Safety Scrum）です。どの科の研修医でもメンタルヘルスの勉強に行けるよう支援しています。もちろん、そこから先のケアや、ストレスの軽減は研修病院の仕事です。

SafetyScrum

Interview
研修医に聞く!「高知は10年後の医療を経験できる場」

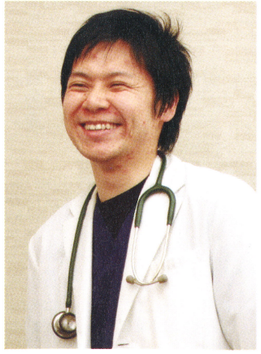


伴正海 医師

県内全病院の研修医が横断的に連携して、それを県全体が支え、行政が支えているという環境が素晴らしいですね。高知医療再生機構が僕たち研修医一人一人の方向を向いているのがとても嬉しく有り難いです。高知県は日本一になれると感じました。

【平成23年3月】

平成22年3月 横浜市立大学医学部卒
平成22年4月～ 高知県にて初期臨床研修



石井洋介 医師

質の高い臨床研修は、都会でなくてもできます。高知は病院同士の垣根が低く、人も情報も行き来が活発なところがいいですね。研修環境をさらによいものにして、「高知からは名医が量産される」と言われるようにしたいです。

【平成23年3月】

平成22年3月 高知大学医学部卒
平成22年4月～ 高知県にて初期臨床研修
「コーチレジ」管理人

医師のために 未来は自分で創る

1 医師のキャリア形成を応援します!

（1）指導医の資格を目指す人へ!

指導医資格取得支援事業 | 専門医資格取得後、2年以上経過の医師｜80万円（2年まで）

高知県で若手医師の指導・教育にあたる医師を増やし、指導体制の充実を図ることを目的としています。指導医資格取得を目指すための勉強や学会参加、論文を作成するための経費を助成しています。（※1）

◉実績：この事業により指導医資格取得に至った医師の数／4人（平成24年3月末現在）

（2）新たな専門医の資格取得を目指す人へ!

専門医等資質向上支援事業 NEW

中堅医師がサブスペシャリティ領域等の資格取得を目指すための活動経費を助成しています。（※2）

概ね16年以上の臨床経験を持つ医師｜50万円（2年まで）

（3）留学して学びたい人へ!

医師留学支援事業

県内の若手医師が、資質向上またはキャリア形成のために国内外の先進的な医療機関で研修をする際、その費用を助成しています。（※3）

医師免許の取得後15年以内の医師 | 長期研修の場合｜300万円 / 短期研修の場合｜200万円

平成22年度【医師留学支援事業】利用
高知大学医学部附属病院 前田広道医師

平成23年1月から約2年間の予定で、アメリカのジョンスホプキンス大学で研究留学をさせていただいています。医局からの派遣ですので大学からの給与をいただいてはいますが、留学するには十分ではないだろうということで、教授から本制度を紹介いただき応募しました。交通費や滞在費（居住費）等にも活用できますので、大人2人、子ども2人の何かと物入りな留学生活に役立たせていただいています。臨床から離れて、研究のことを集中して考えるという贅沢はなかなか味わえない体験だと思いますので、多くの方が利用できることを希望しています。

2 若手医師の指導・育成をサポートします

（1）地域医療研修の充実を!

地域医療研修指導医支援事業 NEW

地域医療研修の指導を行う医師たちで構成する「高知県へき地医療研修指導医連絡協議会」が、研修指導医のレベルアップや指導医間の情報交換を行うために実施する事業の経費を助成しています。

高知県へき地医療研修指導医連絡協議会｜120万円／1年

（2）専門医を育てる!

専門医等養成支援事業

指導医が、若手医師の専門医資格取得を支援するための勉強会やセミナーの開催、学会参加等の研修環境を整える経費を助成しています。（※4）

指導的立場にある医師｜500万円／1年

◉実績：この事業により資格取得に至った医師の数／
専門医資格取得者26人、指導医資格取得者1人（平成24年3月末現在）

平成22年度【専門医等養成支援事業】利用
高知医療センター 救命救急センター 村田厚夫医師

救命救急を目指す若手医師を対象に本事業を活用しました。この事業から、彼らの学会出張（発表含む）や、必要な医学書などの購入支援にも充てました。更に、JATEC等各種講習会の参加費なども支援することで、彼らのモチベーションをより一層高めることもできました。その恩恵を受け、今年度は1名の救急科専門医が誕生し、続いて来年度も2名が同専門医を取得できる予定です。本事業により、他大学から救命救急を学びたいと国内留学されている若手外科医にも、この補助金を活用して経済的な意味でも余裕を持って研修・研鑽に励んでもらえたと思います。今後もこの事業継続により、日本中から専門医を目指す「強い志を持った」若手医師が集まってくることを期待したいですね。

3 地域への赴任を支援!

地域赴任医師研修修学金貸与事業

高知市内・南国市内の病院の医師が、地域医療の核となる地域の病院へ赴任する場合に、研修修学金を貸与しています。1年間以上の勤務により、償還が免除されます。

地域の病院への赴任｜100万円
※自治医科大学医学課程修了者で、勤務義務期間内の者は対象となりません

◉実績：この事業を利用して地域の病院へ赴任している医師のうち、
指導医資格を持つ医師の数／1人（平成24年3月末現在）



4 専門医不足の解消に向けて

専門医等不足分野支援事業

医療充実のために

児童精神や神経内科などの専門医が少ない分野では、県外医師の招聘・確保が難しく、高知県内での医師確保・養成が必要です。若手医師の興味や関心を高めるセミナー等の開催費用を助成しています。（※5）

※補助対象となる経費

※1 指導医資格取得支援事業	学会参加費、出張旅費、書籍・文献購入、文献閲覧・英文校閲料など
※2 専門医等資質向上支援事業	
※4 専門医等養成支援事業	
※3 医師留学支援事業	住居費、現地までの交通費、受講料、図書購入費など
※5 専門医等不足分野支援事業	研修セミナーの開催に要する費用（謝礼金、旅費、消耗品費、通信運搬費、使用料、会議費など）

医療機関のために

1 医師確保・招聘支援をサポートします!

(1) 医師招聘活動事業

「こうち医師ウェルカムネット」で医師の求人登録を行っている県内の医療機関が、医師専門求人サイトを通じて同サイトに登録を行っている県外在住の医師に対し、メール等を介して個別に雇い入れのための働きかけを行う場合、その費用の1／2を補助します。

限度額｜15万7千円

(2) 指導医招聘確保支援事業

医療機関が、診療の傍ら指導医の養成を行う指導医を県外から採用し、前年度給与と大きな差がある場合、それに見合う額を単年度保障します。

2 看護職員・コメディカルスタッフの資質向上を支援します!

(1) 認定看護師資格取得支援事業

看護師職員が、認定看護師の資格を取得するために必要な研修参加費、滞在費、交通費などを助成しています。

(2) 看護職員・コメディカル職員研修派遣支援事業

安全で質の高い医療を提供する体制を整えるため、看護師やコメディカルスタッフが先進的な医療機関で研修するための費用を助成しています。

(3) 看護職員・コメディカル職員研修支援事業

職種横断的な専門知識やチーム医療の促進に役立つ知識・技能を修得するための研修会を、複数の医療専門職が協力して企画・開催する費用を助成します。

平成22年度
【認定看護師資格取得支援事業】利用
国立病院機構高知病院
(緩和ケア認定看護師 佐々木牧子さん)

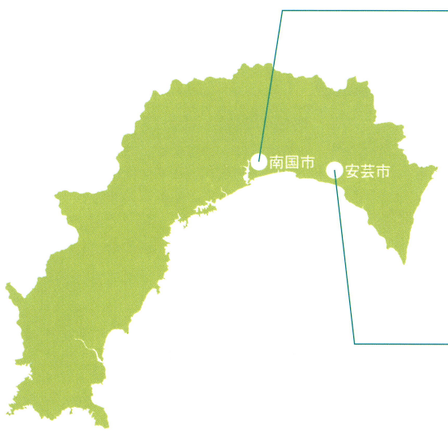


私はがん看護を実践する中で、全人的苦痛を緩和するために専門知識の必要性を感じました。そこで、認定看護師資格を習得したいと考えましたが、家族の理解や経済面の不安もあり、長期研修に踏み切れませんでした。しかし、病院を通じて事業の支援を受ける幸運に恵まれ、経済的不安が解消され安心して6ヶ月間の学業に専念できました。今後は、習得した知識を高知県の緩和ケアの質向上にむけて院内・院外への活動を実践したいと思います。

3 県内の医療施設・設備・システムの整備を支援します!

(1)【安芸保健医療圏における連携体制】

県東部、安芸保健医療圏での医療連携をスムーズに行うための体制を構築し、病院GPの育成拠点の整備を支援しています。(P.5 7-(2)読影システム参照)



(2)【レジデントハウス 南風(みなかぜ)】

高知県内の研修医等に対し、医学に関するシミュレーション教育を行う施設、また県外からの研修医を受け入れるための宿泊棟の建築・整備を支援しています。



高知大学医学部内に設置
【平成24年3月完成】

(3)【県立あき総合病院】

病院GPのキャリア形成拠点となる県立あき総合病院の建設費を助成します。



完成予想パース

医療専門職のための無料職業紹介と支援

高知県で働いてみようとお考えの医師をはじめとした医療専門職のみなさんに、県内の医療機関を紹介しています。高知のために尽力いただける方々にぜひ来ていただきたく、手厚いバックアップ体制を整えています。公的機関による信頼できる情報提供・紹介です。登録料・紹介手数料などは一切必要ありません。

1 当機構が医師を雇用し、地域の医療機関に派遣しています! 機構医師派遣事業

医師の希望に沿って個別にプランを提案し、病院への斡旋や当機構での雇用を行っています。どちらの場合も病院との調整などは当機構が行いますので、慣れない土地でも雑事に煩わされることなく快適に過ごしていただけます。



機構医師第1号
檮原町立国保檮原病院
渡邉聡子医師(福島県出身)

教育機関で経験を積むことが大切だと思い大学病院に籍を置きましたが、退院した患者さんがどのように病気と付き合っておられるのかが知りたくて、地域医療をやってみたいと思うようになりました。母校の大学関係者から、「地域医療を学ぶなら高知だ!」と背中を押されてやってきました。高知医療再生機構のみなさんにあたたかく迎えていただき、檮原病院へ赴任後も何かとお世話になっています。

檮原病院は医療と保健福祉が一体となっていて、理想的な包括的地域医療を行っている所で、自分の目指す医療がここにあります。医者としての基盤をじっくり学び、制度や福祉のことも教えてもらいながら少しずつ知識と経験を積み上げています。

【平成23年4月赴任】

2 地域赴任には修学金を貸与します! 地域赴任医師研修修学金貸与事業

県外の病院から、高知市内・南国市内の病院および地域医療の核となる病院へ赴任する医師に対して、研修修学金を貸与しています。1年間以上の勤務により、償還が免除されます。

高知市・南国市への赴任｜100万円
地域の病院への赴任｜200万円

◉実績:この事業を利用して地域の病院へ赴任している医師のうち、指導医資格を持つ医師の数／4人(平成24年3月末現在)

3 コーディネーターがサポートします! 連携コーディネーターの設置

地域へ赴任する医師に対し、相談窓口となるコーディネーターを配備し、赴任のための準備や病院との交渉などを円滑に進めます。赴任後も定期的にコンタクトをとり、課題があれば解決に努めます。



高知医療再生機構 連携コーディネーター
水島直子

高知で不安なく充実した毎日を過ごしていただけるよう、お一人お一人のご希望やご要望に応じてサポートさせていただきます。赴任前はもちろんのこと、赴任されてからも引き続き病院との調整等をいたしますので、どうぞ安心して高知にいらしてください。

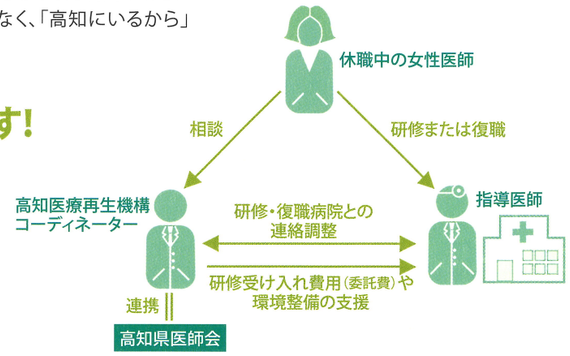
4 キャリアアップを支援します! (P.10「医師のために」参照)

当機構は、高知で働く医師に対して、さまざまなキャリアアップ支援を行っています。このサポートシステムは、県外から赴任する医師ももちろん利用することができます。学会への参加など、「高知にいても」ではなく、「高知にいるから」キャリアアップができるような支援を目指しています。

5 産休・育休後の働く場を確保します!

女性医師の復職支援事業 NEW

出産・育児などによって一時仕事を離れていた女性医師に対し、復職の相談窓口を設け、再就業医療機関に関する情報収集を行ってご本人に提供します。また、復職に向けての研修ができるよう各医療機関と調整を行い、研修環境の整備(スタートアップ研修)を支援します。



高知の医療現場に関する情報を提供しています!

1 「こうち医師ウェルカムネット」で検索できます



高知県内で求人を行っている医療機関の情報を公開しています。
診療科目、医療圏や所在地、勤務形態などの項目で情報を検索することもできます。
情報は随時更新しており、56病院の情報を見ることができます。(平成24年2月現在)

こうち医師ウェルカムネット
http://www.kochi-mrr.or.jp/~ishi_welcome_net/

2 「こうち医師ウェルカムネットニュース」を発行しています

地域の病院で活躍するIターン・Uターンの医師、診療応援の県外医師などにスポットをあて、インタビューを行っています。高知の住み心地や地域医療について、熱く語っていただいています。



3 オーダーメイドの「高知の医療見学ツアー」を行っています

高知県内での就職をお考えの医師が、ご希望の医療機関を複数見学することができる見学ツアーを実施しています。ご希望の方は高知医療再生機構までお問い合わせください。

[医療見学ツアーの流れ]
①高知医療再生機構への問い合わせ
②当機構の職員が面談に赴き、詳細なヒアリングと打ち合わせ
③希望に合った医療機関のリストアップ・提示リストの中から
　見学する医療機関を選択していただきます
④医療機関と調整し、見学ツアーの行程を作成
⑤機構職員が同行し、ツアーを実施
⑥就職後もさまざまな相談に応じます

[医療見学ツアー例]

1日目

10:30	13:00	16:00	18:00
高知龍馬空港着	A病院見学	B病院見学	市内ホテル宿泊
	面接者・事務長	面接者・院長	

2日目

9:00	12:00	16:00
市内ホテル出発	C病院見学	高知龍馬空港着
	面接者・院長	

4 全国各地に「こうちの医療RYOMA大使」

県外で活躍する、高知県ゆかりの著名な医療関係者の方々に「こうちの医療RYOMA大使」を委嘱し、高知県の取り組みについての情報を提供・発信しています。

5 「医師ふるさとネット」で高知の情報をお届けしています

高知県出身の医師に、定期的に高知県の取り組みについて情報発信を始めています。
情報提供をご希望の方は、高知医療再生機構までご連絡ください。

6 ウェブサイトでもご覧いただけます

ウェブサイト「医学生・研修医・医師のための情報サイト ドクターアカデミー DA -Doctor Academy」で「高知の医療事情」についてお話しています。視聴には登録が必要ですが、登録は簡単で、医療職以外の方も職業欄「その他」で登録ができます。

医学生・研修医・医師のための情報サイト ドクターアカデミー DA -Doctor Academy
[医療動画] http://www.doctor-academy.net/movie/movielist.do

名　称	一般社団法人　高知医療再生機構
所在地	〒780-8570　高知市丸ノ内1-2-20(高知県庁本庁舎内)
設　立	平成22年2月
役　員	理　事　長　1名 副理事長　1名 専務理事　1名 理　　事　5名 監　　事　1名
沿　革	平成17年3月　高知大学に有限責任中間法人「高知予防医学ネットワーク」が発足 平成21年6月　法人化制度の見直しを受け一般社団法人に移行 平成22年2月　名称を「高知医療再生機構」に改称 高知県が事業運営に参画 4月　医療再生事業部を高知県庁本庁舎内に設置、予防医学ネットワーク事業部・研究支援事業部は高知大学岡豊キャンパス内で活動を継続

賛助会員を募集しています

高知医療再生機構では、当機構の趣旨・活動にご賛同いただき、ご協力いただける賛助会員を募集しています。高知県の医療環境を充実させ、より多くの医師に高知県の病院を選んでもらう活動に、ぜひともお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

賛助会費

◉個人　一口当たり年額５千円として一口以上
◉団体　一口当たり年額３万円として一口以上

入会につきましては、当機構医療再生事業部までお問い合わせください。

